



# お互いさまの まちづくり アクションプラン

～支え合い活動50団体創出に向けて～

平成29年3月

豊橋市お互いさまのまちづくり協議会

# お互いさまのまちづくり アクションプラン①全体像

～支え合い活動50 団体創出に向けて～

## お互いさまのまちづくりとは

高齢者が気軽に集うことができる「まちの居場所」の運営や、買い物や草取りなどの日常生活を支援する「助け合い活動」などの互助の取り組み(支え合い活動)を通じて、地域住民一人ひとりができることを持ち寄る地域づくりのことをいいます。

## お互いさまのまちづくり アクションプランとは

市や社会福祉協議会などの関係団体等で構成する「お互いさまのまちづくり協議会」が、支え合い活動の拡大に向けてそれぞれの取り組み項目を定めた平成29年度から32年度までの4年間の計画です。計画期間中に支え合い活動団体を50団体創出することを目指します。アクションプランは4つのプランで構成し、それぞれのプランが連鎖して、認知度向上が担い手創出や活動の立ち上げ・安定化につながり、それがさらなる認知度向上につながるという好循環を作り出します。また、協議会において毎年度進捗状況を確認し、必要に応じて取組内容の見直しや改善を行います。

## お互いさまのまちづくりの必要性

本市では、高齢化の進行に伴い、高齢者単身世帯や高齢者夫婦のみの世帯の数が増加すると見込まれており、また、要支援・要介護者の認定者数も増加傾向にあることから、今後高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることは一層困難になると考えられています。

こうした状況を受け、本市では、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、医療、介護、介護予防、生活支援、住まいを包括的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。特に介護予防、生活支援を充実させるためには、支え合い活動を通じて「お互いさまのまちづくり」を進める必要があります。

## アクションプランのねらい

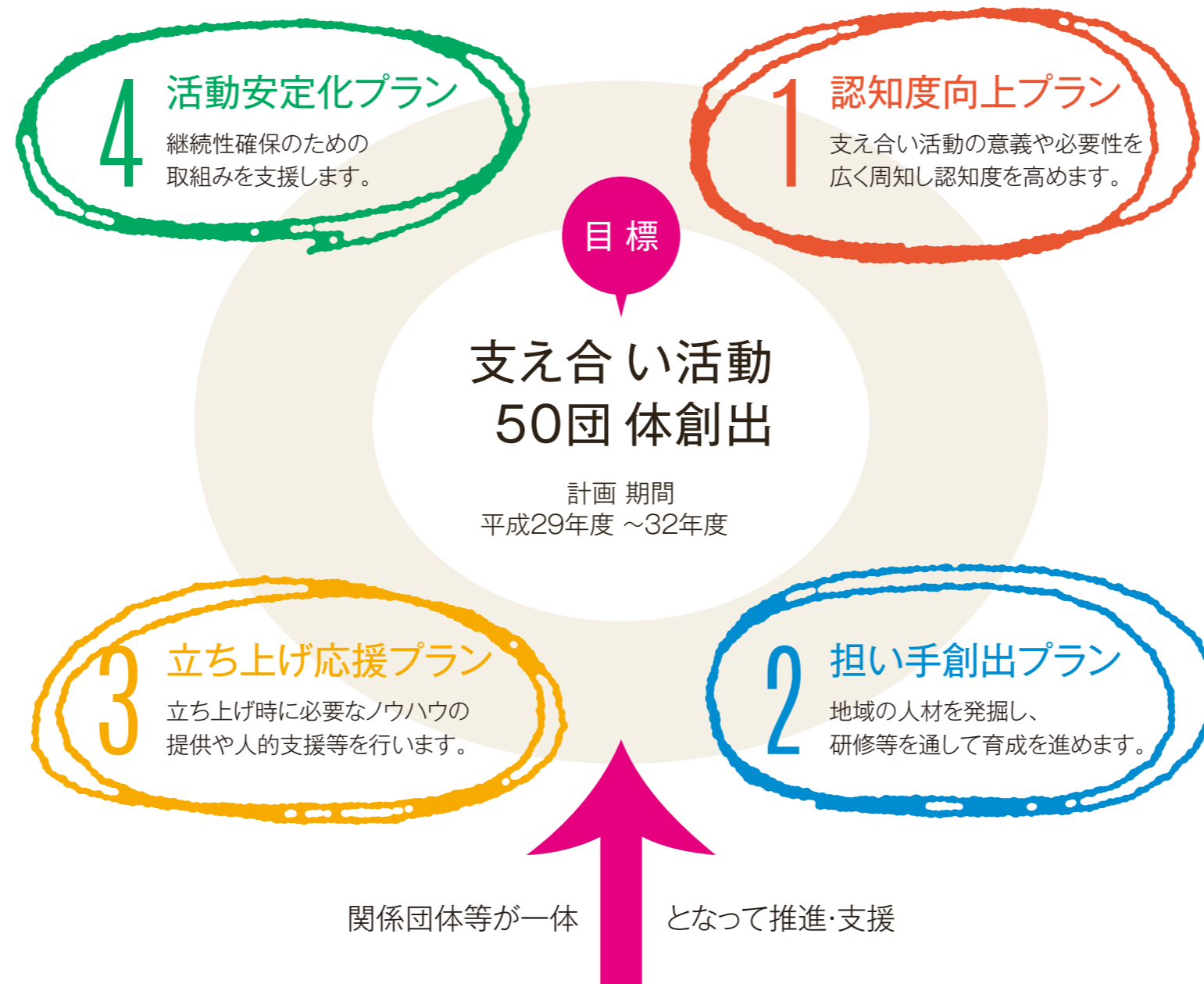
「お互いさまのまちづくり」に向けて、これまで市や社会福祉協議会などの関係団体等が地域福祉の充実を図るなかでそれぞれに取り組んできましたが、今般、関係団体等によるお互いさまのまちづくり協議会を基盤に連携し一丸となって取り組んでいくこととしました。

このアクションプランは、協議会を構成する関係団体等の取組みを一元化するとともに、その役割を整理したもので、これにより認識の共有を図り、立場の違いを超えて互いの強みを出し合う「コレクティブインパクト」を実現することをねらいとしています。

## 取組みの方針

まちの居場所の運営や助け合い活動など、地域に根差した「お互いさまのまちづくり」につながる支え合い活動を支援していきます。

取組みを進めるに当たっては、本市には中心市街地から郊外部に至るまで多様な地域コミュニティがあり、抱える地域課題も様々であることから、その特性を十分に踏まえて地域に働きかけていきます。また、支え合い活動はインフォーマルなサービスであることから、地域の自主性や主体性が重要であり、地域の声に耳を傾け寄り添って進めていきます。



## 豊橋市お互いさまのまちづくり協議会

- 豊橋市自治連合会
- 豊橋市民生委員児童委員協議会
- 豊橋市老人クラブ連合会
- 豊橋市シルバー人材センター
- 豊橋市社会福祉協議会
- 豊橋市地域包括支援センター
- 豊橋市生活支援コーディネーター
- 支え合い活動者
- 学識経験者
- 豊橋市



# 認知度向上プラン



## 1

自治会や民生委員を中心に支え合い活動への関心が高まりつつありますが、依然として認知度が高いとはいえません。支え合い活動を増やしていくためには、多くの人に、支え合い活動が地域包括ケアシステムや介護保険制度と密接に結びついていることを理解してもらい、「自分ごと」として認識してもらう必要があります。

今後も自治会、民生委員、老人クラブ等への働きかけを続けるとともに、協議会の構成団体に関わる様々な情報媒体やイベント等を通じて、支え合い活動の意義や必要性、魅力、やりがいを情報発信していきます。また、地域の大学とも連携し、若者への周知も進めていきます。

たくさんの人に  
知ってもらおう！



### ■主な取組み

市	<ul style="list-style-type: none"><li>● アンケートによる現状把握</li><li>● お互いさまのまちづくり出前講座の実施</li><li>● アクティブシニア情報誌「アクティ」による活動紹介</li><li>● 多様な情報媒体の活用</li><li>● 市内大学との連携</li></ul>
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"><li>● ソーシャルメディアによる情報発信</li><li>● ボランティア情報サイトによる情報発信</li><li>● ボランティアイベント等での情報発信</li></ul>
地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自治会や民生委員の会議等を通しての出前講座の実施協力</li><li>● 自治会や民生委員の会議、小地域ケア会議等懇談会を通しての周知</li></ul>
生活支援コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"><li>● 出前講座において活動の魅力を伝達</li></ul>

### ■取組みへの関わり

自治連合会	<ul style="list-style-type: none"><li>● 出前講座への積極的参加</li><li>● 自治会内で支え合い活動について情報共有</li><li>● 民生委員や老人クラブとの意見交換</li></ul>
民生委員児童委員協議会	<ul style="list-style-type: none"><li>● 出前講座の積極的参加</li></ul>
老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"><li>● 出前講座の積極的参加</li></ul>
シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"><li>● シルバー人材センター主催の各種イベントでのPR</li><li>● シルバー人材センター会員への周知</li></ul>
支え合い活動者	<ul style="list-style-type: none"><li>● 周知活動の実施</li></ul>

# 担い手創出プラン

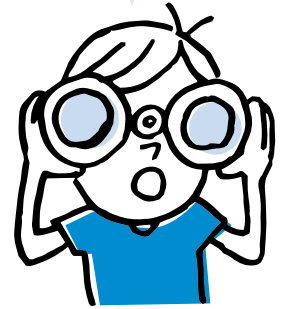


## 2

支え合い活動は、魅力ある担い手で成り立っており、人こそが最大の資源といえます。支え合い活動を創出するためには、地域の中で問題意識を持っている人を発掘するとともに、研修等を通して人材を育成していく必要があります。

今後も地域の実情を踏まえながら自治会、民生委員、老人クラブ等に働きかけ人材発掘を進めるとともに、関係団体における各種研修の中に支え合い活動に関する要素を取り入れ、担い手となる人材を育成していきます。また、活動者交流会などにより仲間づくりやネットワークづくりを支援していきます。

問題意識を持つ人を  
発掘するぞ！



### ■主な取組み

市	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動者交流会における研修の実施</li><li>●まちの居場所ガイドツアーの開催</li><li>●生活・介護支援サポーター養成講座の実施</li></ul>
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"><li>●マスタースカレッジやマスターズクラブ等のボランティア関係講座を通じた人材育成</li><li>●ボランティアのコーディネートによる活動への参加促進</li></ul>
地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"><li>●小地域ケア会議等懇談会を通しての担い手の発掘や地域への呼びかけ</li></ul>
生活支援コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"><li>●担い手発掘や地域への呼びかけ</li></ul>

### ■取組みへの関わり

自治連合会	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動者交流会への積極的参加</li><li>●地域の人材情報を市や地域包括支援センター等と共有</li></ul>
民生委員児童委員協議会	<ul style="list-style-type: none"><li>●民生委員児童委員研修会における活動者育成</li><li>●活動者交流会への積極的参加</li></ul>
老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動者交流会への積極的参加</li></ul>
シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動者交流会への積極的参加</li></ul>
支え合い活動者	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動者交流会への積極的参加</li></ul>

# 立ち上げ応援プラン



## 3

支え合い活動の立ち上げ時には、協力者集めや活動拠点の確保、活動資金の獲得といった、多くの活動者が共通して直面する課題があります。

こうした課題の解消に向けて、必要な情報の提供や相談体制の強化を図るとともに、先行する好事例を活動者全体で共有してもらい、横展開を促します。また、自治会、民生委員、老人クラブ等が活動者と積極的に連携し、活動者をバックアップする環境づくりを進めます。

活動する人を  
応援します！



### ■主な取組み

市	<ul style="list-style-type: none"><li>● 資金獲得の事例研究と情報共有</li><li>● 「支え合い活動よろず相談窓口」の設置</li><li>● 活動者交流会の開催（活動者からのアドバイスの機会提供）</li><li>● 市民活動総合補償制度の周知</li><li>● 市民協働推進補助制度（つつじ補助金）の周知</li><li>● 空家情報の提供</li><li>● 校区市民館、地区市民館における利用案内</li></ul>
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"><li>● ボランティア活動保険登録の支援</li><li>● 立ち上げ相談への対応</li></ul>
地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"><li>● 市や生活支援コーディネーターと連携した立ち上げ支援</li></ul>
生活支援コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"><li>● 立ち上げ相談への対応</li><li>● 地域の関係者の連携を促進</li></ul>

### ■取組みへの関わり

自治連合会	<ul style="list-style-type: none"><li>● 活動者との積極的連携、情報共有</li></ul>
民生委員児童委員協議会	<ul style="list-style-type: none"><li>● 活動者との積極的連携、情報共有</li></ul>
老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"><li>● 活動者との積極的連携、情報共有</li></ul>
シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"><li>● 活動者との積極的連携、情報共有</li></ul>
支え合い活動者	<ul style="list-style-type: none"><li>● 活動希望者へのアドバイス、見学の受け入れ</li></ul>

# 活動安定化プラン

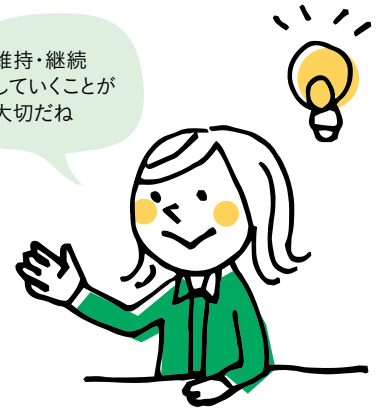


## 4

支え合い活動に取り組むなかで、活動者は企画の立案や後任の育成など活動の継続に難しさを感じています。支え合い活動はそれぞれの地域のニーズに沿って行われていますが、活動をその地域のなかで終わらせることなく、他の活動団体との有機的な連携を促し、好事例を拡げていくことで、課題を解消し基盤の強化を図ります。

さらには、地域共生社会を見据え、高齢者だけでなく地域の子育て世代や障害者などにも目を向け、地域の将来を考えることができる活動団体へのステップアップを支援します。

維持・継続  
していくことが  
大切だね



### ■主な取組み

市	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動者交流会の開催(活動者相互のネットワーク化)</li><li>●市民協働推進補助制度(くすのき補助金)の周知</li></ul>
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"><li>●社会福祉協議会登録のボランティア活動グループを紹介</li></ul>
地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"><li>●まちの居場所での介護予防教室の開催</li><li>●まちの居場所へ参加されなくなった方への個別訪問と対応</li></ul>
生活支援コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"><li>●企画の相談対応</li></ul>

### ■取組みへの関わり

自治連合会	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動者との積極的連携、情報共有</li></ul>
民生委員児童委員協議会	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動者との積極的連携、情報共有</li></ul>
老人クラブ連合会	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動者との積極的連携、情報共有</li></ul>
シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動者との積極的連携、情報共有</li></ul>
支え合い活動者	<ul style="list-style-type: none"><li>●活動希望者へのアドバイス、見学の受け入れ</li></ul>

## ■策定体制

### お互いさまのまちづくり協議会 委員名簿



(敬称略)

委員名	区分	団体名等
小林てる子	関係団体	豊橋市自治連合会
金田 好正	関係団体	豊橋市老人クラブ連合会
柘植 紀子	関係団体	豊橋市民生委員児童委員協議会(平成28年9月~10月)
岡本勢津子	関係団体	豊橋市民生委員児童委員協議会(平成28年11月~)
松井 晴男	関係団体	社会福祉法人 豊橋市社会福祉協議会
小澤 節子	関係団体	公益社団法人 豊橋市シルバー人材センター
神野 拓郎	関係団体	豊橋市中央地域包括支援センター
伊藤 久子	関係団体	豊橋市南部地域包括支援センター
野中 至	関係団体	豊橋市東部地域包括支援センター
◎岩崎 正弥	学識経験者	愛知大学 地域政策学部 教授
稲垣 等恵	生活支援コーディネーター	
藤田 依子	生活支援コーディネーター	
○村川 博美	支え合い活動者	三本木町自治会 三本木お互いさまの会
大野 純宏	支え合い活動者	岩田校区 支え合い活動「のん・ほい」
アドバイザー 神谷 典江	中間支援団体	特定非営利活動法人 穂の国まちづくりネットワーク

◎…会長、○…会長職務代理

## ■策定経緯

年月日	会議	主な内容
平成28年 9月12日	第1回協議会	支え合い活動の状況について
11月 7日	第2回協議会	支え合い活動の課題とその対応について
12月19日	第3回協議会	取組み項目の検討について
平成29年 2月28日	第4回協議会	目標値の検討について
3月29日	第5回協議会	目標値の検討について